

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【公表番号】特表 2014-522542 (P2014-522542A)

【公表日】平成 26 年 9 月 4 日 (2014.9.4)

【年通号数】公開・登録公報 2014-047

【出願番号】特願 2014-515926 (P2014-515926)

【国際特許分類】

G 0 6 F 15/00 (2006.01)

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 15/00 4 1 0 A

G 0 6 F 9/06 6 2 0 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 7 1 】

[0086] 第 2 テンプレートは、G U I スクリーン・テンプレートと呼ぶことができる。G U I スクリーン・テンプレートは、所与の G U I スクリーンのテンプレートを構成することができる。G U I スクリーン・テンプレート・レイアウトは、ヘッダおよびコンテンツ・セクション双方のベース・テンプレート・レイアウトをオーバーライドすることができる。オーバーライドされるコンテンツ・テンプレートは、格子レイアウトのようなテーブル状であってもよく、および / またはアコーディオン・レイアウトのように纏めることができる。新たなレイアウトは X M L ファイルにおいて定義することができる。G U I スクリーン・テンプレート・レイアウトは、多数の G U I スクリーンを 1 つに組み合わせることができ、それが変化させている G U I スクリーンに特定のことができる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 7 9 】

[0094] G U I スクリーン・テンプレート・レイアウトは、ヘッダおよびコンテンツ・セクション双方のベース・テンプレート 8 1 6 のベース・テンプレート・レイアウトをオーバーライドすることができる。オーバーライドされるコンテンツ・テンプレートは、格子レイアウトのようなテーブル状であってもよく、および / またはアコーディオン・レイアウトのように纏めることができる。一実施形態では、新たなレイアウトは、適したウェブ関係レイアウト・フォーマットでもとりわけ、X M L ファイルにおいて定義することができる。G U I スクリーン・テンプレート・レイアウトは、多数の G U I スクリーンを 1 つに組み合わせることができ、それが変化させている G U I スクリーンに特定のことができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更**【訂正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

クライアント・コンピュータ上で実行しているクライアント・アプリケーションから、変更されたユーザー・イベント・プロパティを受け取るステップであって、前記変更されたユーザー・イベント・プロパティは、前記クライアント・コンピュータにおいてレンダリングされたユーザー・インターフェース・エレメントに作用するユーザー・イベントによって引き起こされる、前記ユーザー・インターフェース・エレメントに割り当てられた属性に対する変更を含み、前記ユーザー・イベントは、1組のユーザー・イベント・プロパティによって定義され、前記ユーザー・インターフェース・エレメントは、特定のGUIスクリーン内において構成されている、ステップと、

前記受け取られた変更されたユーザー・イベント・プロパティに基づいてグラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）独立オブジェクトを生成するステップと、

前記GUI独立オブジェクトにベース・テンプレートとスクリーン・テンプレートを適用して新たなGUI独立オブジェクトを作成するステップであって、前記ベース・テンプレートは、GUIスクリーン・レイアウトの1つの表現についてのメタデータおよびコンテンツを含み、前記スクリーン・テンプレートは、前記ベース・テンプレートに係するGUIスクリーン・レイアウトのカスタム化表現についてのメタデータおよびコンテンツを含み、前記スクリーン・テンプレートは、前記特定のGUIスクリーンに固有であり、前記スクリーン・テンプレートのレイアウトは、前記ベース・テンプレートのレイアウトをオーバーライドする、ステップと、

前記新たなGUI独立オブジェクトを前記クライアント・コンピュータ上で実行している前記クライアント・アプリケーションへ送るステップと、

を含むコンピュータ実装方法。

【請求項 2】

前記スクリーン・テンプレートによってカスタム化された新たなGUIレイアウト・スクリーンは、複数のスクリーンを1つのスクリーンに組み合わせる、請求項1に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 3】

ユーザー・イベント・プロパティを受け取るステップを含み、前記ユーザー・イベント・プロパティは、1つまたは複数のユーザー・インターフェース・エレメントを有するオブジェクト・メタデータを含む、請求項1に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 4】

ユーザー・イベント・プロパティを受け取るステップを含み、前記ユーザー・イベント・プロパティは、1つまたは複数のタプルを有するプロパティ/値集合体を含み、各タプルは、少なくとも3つのフィールドを有し、各タプルは、ユーザー・インターフェース・エレメントの識別子、前記ユーザー・インターフェース・エレメントのプロパティ、および前記プロパティの値を含む、請求項1に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 5】

論理デバイスと、

前記論理デバイス上で動作可能なサーバー・アプリケーションと、

を備える装置であって、

前記サーバー・アプリケーションは、

クライアント・コンピュータ上で実行しているクライアント・アプリケーションから、変更されたユーザー・イベント・プロパティを受け取り、前記受け取られた変更されたユーザー・イベント・プロパティに基づいてグラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）独立オブジェクトを生成するように動作可能であるインタプリタ型ランタイム・エンジンであって、前記変更されたユーザー・イベント・プロパティは、前記クライアント・コンピュータにおいてレンダリングされたユーザー・インターフェース・エレ

メントに作用するユーザー・イベントによって引き起こされる、前記ユーザー・インターフェース・エレメントに割り当てられた属性に対する変更を含み、前記ユーザー・イベントは、1組のユーザー・イベント・プロパティによって定義され、前記ユーザー・インターフェース・エレメントは、特定のGUIスクリーン内において構成されている、インタプリター型ランタイム・エンジンと、

前記GUI独立オブジェクトにベース・テンプレートとスクリーン・テンプレートを適用して新たなGUI独立オブジェクトを作成し、前記新たなGUI独立オブジェクトを前記クライアント・コンピュータ上で実行している前記クライアント・アプリケーションへ送るよう動作可能であるテンプレート・プロセッサであって、前記ベース・テンプレートは、GUIスクリーン・レイアウトの1つの表現についてのメタデータおよびコンテンツを含み、前記スクリーン・テンプレートは、前記ベース・テンプレートに係するGUIスクリーン・レイアウトのカスタム化表現についてのメタデータおよびコンテンツを含み、前記スクリーン・テンプレートは、前記特定のGUIスクリーンに固有であり、前記スクリーン・テンプレートのレイアウトは、前記ベース・テンプレートのレイアウトをオーバーライドする、テンプレート・プロセッサと、
を備える、装置。

【請求項6】

前記インタプリター型ランタイム・エンジンは、更に、前記受け取られたユーザー・イベント・プロパティに応答してスクリプト・コードを実行するように動作可能であるスクリプト・インタプリターを備える、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記インタプリター型ランタイム・エンジンは、更に、データベースに格納されているファイルに対してファイル管理動作を実行するように動作可能であるファイル・マネージャーを備える、請求項5に記載の装置。